

- 1 監査等の種類 随時監査
- 2 監査の対象 南部プラントグラウンド整備工事
- 3 監査の着眼点 令和4年度 工事監査実施計画（以下「実施計画」という。）
に定める着眼点による
- 4 監査の実施場所 実施計画に定める実施場所
- 5 監査の日程 令和4年11月30日～令和5年2月10日
- 6 監査の結果 令和4年度 工事監査結果報告書のとおり

令和4年度 工事監査結果報告書

1 監査の対象

(1) 名称

南部プラントグラウンド整備工事

(2) 事業目的

本工事は、岐阜市上下水道事業部下水道施設課所管の南部プラント水処理棟の屋上に設置した公苑が当該建屋の老朽化とともに耐震性能も低いことから、同施設を廃止することとし、その代替施設として同施設の北側にある敷地内において、新たにグラウンド整備を行うものである。

(3) 概要

別紙のとおり

2 監査の期間

令和4年11月30日から令和5年2月10日まで

3 監査の方法

令和4年度において施工中の工事のうち、土木工事1件を抽出して、工事の計画、調査、設計、仕様、積算、契約、施工管理、監理（監督）、試験、検査等が適正かつ効率的に執行されているかについて調査するため、書類調査を行い、令和5年1月16日に現地調査を行うとともに、関係職員に対して説明を求めた。

なお、工事技術面の調査については、公益社団法人 大阪技術振興協会との工事技術調査業務委託契約に基づき、技術士の派遣を求め、書類調査及び現地調査を行った。

4 技術士の「総評」「所見」の概要

(1) 総評

工事監査(技術調査)事前質問予定書による回答・提示された書類及び現

場を確認し、疑問点は関係者に質問をすると共に、各段階における事務的・技術的事項について調査した。書類調査、現地調査において、概ね良好であり、特に発注者において書類の整理・整頓・保管は丁寧に行われていた。

工事の進捗は、『1月末段階の出来高として約65%を予定している』との状況から、工事工程は順調に進捗していると思われる。

(2) 所見

ア 書類調査

(ア) 設計図書に関する書類について

a 的確に作成されているか。

測量設計の内容としては、業務委託発注仕様書及び設計基準、指針に基づいて適正に実施設計が行われたことを確認した。

設計図に関しては、設計基準及び指針に基づく適正な設計であり、工種比較検討などもわかりやすく丁寧な表現に努め適切に作成されていた。

b コスト削減意識を反映した設計となっているか。

敷地造成工事から発生する草混じり土以外の土砂発生を抑え、場外搬出土量の軽減を図る設計とし、更にアスファルト舗装工・路盤工等においても再生材の使用により工事費用の縮減に努めていた。

更に、岐阜市上下水道事業部では下水道汚水処理から発生する汚泥を焼却し、その灰を固めたハイカラレンガを平成20年度まで製造していたので、在庫分のレンガを材料支給し、その使用により環境及びコスト面で寄与していた。

本件グラウンドは、南部プラントの減災対策として仮設沈殿池等の用地であり、その場合の対応としてサッカーグラウンドは最も経済性に優れたクレイ舗装としていた（一般的には真砂土舗装や人工芝舗装・天然芝舗装である）。

(イ) 積算に関する書類について

a 数量、金額は正確か。また、その算出根拠は明確か。

b 諸経費は適切に算出されているか。

「土木工事積算基準及び歩掛表(共通編)」、「令和4年度実施設計書に使用する単価表」、「建設物価調査会」他により算出されていた。労務・資材単価表に無いものについては、岐阜県の「見積もりによる単価表等の取り扱いについて」を参考にし、原則3者以上の見積もりを徴収し最低値を採用しており、いずれも適正に価格を決定していることを確認した。

工事設計書の照査については、担当係長により、チェック項目に基づき適正に照査を行いチェック履歴として保存されていた。

(ウ) 施工管理に関する書類について

a 工事施工計画は適切か。

施工計画書の主な内容は以下の通りであり、工事着手前に提出され監督員により承認され適正に整備、保管されていた。

- ・ 工事概要、実施工程表、現場組織表
- ・ 使用指定機械、主要資材、施工方法
- ・ 施工管理、安全管理、交通管理、環境管理
- ・ 緊急時の体制及び対応

施工体制台帳・施工体系図は、監督員に対象工種の着手前(令和4年10月24日)に提出され、整備保管されていた。

実施工程表(バーチャート)が作成提出され整備されていた。毎月の「工事履行報告書」により工事工程の進捗状況を報告させ、工事工程の管理は適正であった。

b 各種承諾図書、工事記録写真等の請負人提出書類は整備されているか。

現場代理人・主任技術者届は、入札後(令和4年9月5日)に届出を受け、施工計画書・関係下請等届は造園工事実施下請け業者から順次(令和4年9月26日以降)提出されていた。

各資格要件は満足しており、経験年数も十分であった。また、下請負業者との請負契約についても適正に作成整備されていた。

工事カルテの作成と(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)のCORINS(工事实績情報サービス)登録は、規定どおりに行われていた。

工事写真・出来高管理・現場従事者の管理・建設機械のチェックリスト等すべて適切に保管されていることも確認した。

(エ) 使用材料承認及び試験検査等に関する書類について

- a 各種検査、材料試験等は適正に行われているか。また、その記録は整備されているか。

使用する材料について、主要資材リスト、品質規格等を事前に確認し、その報告書を工事着手前の令和4年9月5日に提出させ、監督員により確認し適正に整理保管されていた。

品質管理において、特記仕様書に従い、請負業者の実施した品質管理チェックシートに基づき適正な品質であることを監督員により確認し、整理保管されていた。

請負業者の提出した施工計画書に掲げた段階確認事項について承認し、所定の時期に段階確認検査を実施し適切であることを確認していた。

イ 現場調査

(ア) 工事施工状況について

- a 設計図書どおり施工されているか。

本工事の工程は、令和4年12月末時点の計画出来高55.0%に対して実施出来高55.0%の段階であった。現場の状況から判断すると予定通りの工事進捗となっているが、年度末を控え工事の最終工事段階であり、更に適切な工程管理に努められたい。

- b 法令等を遵守して施工されているか。

建設業法、労働安全衛生法、入札契約適正化法等で要求されている告知すべき書類として、①建設業許可証、②施工体系図、③労災保険関係成立票、④建退協加入標識、⑤緊急時の連絡体制図、⑥施工体制台帳作成工事である旨の通知書が工事現場に掲示されていることを確

認した。

- c 諸材料の保管は適切に行われているか。

現場事務所は、仮設トイレ、救急救命具や消火器が設置されており、作業ヤードの状況を含め整理・整頓状況は適切であった。

(イ) 安全管理状況について

- a 現場の安全管理は適切に行われているか。

- b 現場周辺住民等への工事災害防止対策等は適切に行われているか。

安全設備としては、第3者に対する進入防止対策として工事用出入り口における開閉門扉の設置・工事案内看板の設置・簡易なナイロンメッシュネット(現場の施工上の制限から既設フェンスを取り外したため設置したものであり速やかに回復する予定)及び交通誘導警備員によることを確認した。

安全管理のための組織図の作製、予想される現場の事故に対しての防止対策として、社内及び現場でのTBM(ツールボックスミーティング)の励行、KYT(危険予知訓練)の推進安全管理活動など施工計画書等に基づき実施されていた。

現場事故等における緊急連絡体制表に加え、工事・業務関係者に対してワンデーレスポンス及び建設作業員の安全教育の実施状況は良好であり関係書類は適切に保管されていた。

5 本工事に係る契約事務

(1) 契約の方法

本工事に係る契約は、一般競争入札により締結されている。本工事の設計金額からすると、岐阜市上下水道事業部一般競争入札等実施要綱第2条により、本工事に係る契約は、一般競争入札によることとされており、契約の方法は適正と認められる。

(2) 契約の締結

契約書には契約金額に応じた収入印紙が貼付され、消印されていた。その

他関係書類も整備されていると認められる。

6 監査の結果

書類調査、現地調査並びに技術士の総評及び所見を踏まえ、監査を実施した結果、本工事は、適正に執行されているものと認められた。

工事の概要

- 1 工事名 南部プラントグラウンド整備工事
- 2 工事場所 岐阜市南鶉6丁目78番地
- 3 工事内容 グラウンド整備工事
- 4 設計委託 大同コンサルタンツ株式会社
- 5 施工監理 直営
- 6 工事費 請負金額 83,160,000円(消費税及び地方消費税を含む。)
- 7 入札 令和4年8月9日
一般競争入札(総合評価落札方式)
(入札参加数 8者、うち辞退1者、入札回数 1回)
- 8 工期 令和4年9月5日～令和5年3月10日
- 9 受注者 丸成林建設株式会社
現場代理人：林 茂樹
主任技術者：林 茂樹
- 10 工事進捗率 計画出来高55% 実施出来高55%(令和5年1月16日現在)
- 11 工事監督員 総括監督職員 上下水道事業部 下水道施設課
副主幹 岩田 浩和
一般監督職員 上下水道事業部 下水道施設課
副主査 有田 周市